

1. 緒言

相模川と中津川に挟まれた厚木市依知地区は中依知遺跡群が存在することが知られている^[1]。特に、古墳時代後期の群集墳の存在で知られており、直刀、鉄鏃、玉類の出土が認められる^[2]。同遺跡は意図的に埋蔵されたと推察される 100 緡、10 貫、9706 枚に上る埋蔵銭が出土している^[3]。本研究は中世銭貨の特性分析を手掛かりに中世の銭貨流通の実態解明を最終的な目標とする。

2. 研究のアプローチ

古文書や古記録を纏めて文書史料という。従来の歴史学は、文書史料の記述を中心に歴史を解明してきたが、文書史料の作成者を取り巻く利害関係により、同一事象についての文書史料でも記述内容が異なる場合や、中世以前の日本では文書史料の保存体制が不十分であり、災害が多く発生することもあり、文書史料が現存しないこともある。

本研究では中依知遺跡群出土銭貨の成分組成を蛍光X線解析装置によって明らかにする。これにより、銭貨の製造方法、産地といった情報をも揃い取る事ができる^[4]。今年度はわかりやすいデータベースとする為に、三角ダイアグラムでの実験結果表示を試行する。

3. 結果

表 1 に蛍光X線解析装置による成分分析結果を示す。

表 1 永楽通宝 10 枚の成分分析結果

資料番号	提供元 ID	含有成分[質量パーセント]							
		Cu	Pb	As	Sn	Si	Fe	S	P
14Cb01	26-10	32.4	40.9	15.2	6.79	3.33	1.39		
14Cb02	27-22	61.8	17.2	7.11	8.77	3.41	0.510	0.920	0.305
14Cb03	28-26	55.2	17.1	7.45	10.8	7.61	0.995	0.617	0.243
14Cb04	28-82	56.7	24.0	9.31	7.68	1.58	0.731		
14Cb05	29-13	63.5	15.1	6.87	10.1	1.50	0.883	1.63	0.458
14Cb06	30-28	51.8	28.8	10.0	6.79	1.40	0.993	0.180	
14Cb07	30-87	64.4	16.1	6.41	8.16	3.26	0.871	0.440	0.391
14Cb08	31- 8	38.8	33.6	17.2	7.25	2.37	0.779		
14Cb09	32- 3	60.2	17.4	7.76	11.0	1.90	0.902	0.910	
14Cb10	33-61	57.0	23.0	7.40	6.86	5.00	0.726		

4. 結論

永楽通宝 10 枚はいずれも日本国内で産出される金属のみの含有が認められ、中国で鑄銭さ

れたことを示す結果は得られなかった。また、Cb01, Cb08 は銅に対する鉛の割合が比較的高く、他の永楽通宝が 0.25 から 0.56 を示す中、それぞれ 1.26, 0.866 となった。以上のことから 14Cb01, 14Cb08 は鑄造者が銅の含有量を落とした私鑄銭である可能性が高いと考えられる。

また、新たな着目として資料番号の下二桁が 02 と 05 と 07, 02 と 08, 04 と 10, 05 と 09 の組は組成の差が 10%未満と比較的小さく、似た組成となった。これら銭貨は同一の鑄銭施設で抽選された可能性が考えられ、今後の研究によっては、厚木市中依知遺跡群の流通を探る上で参考に成り得ると考える。

一方、外径、厚さ、質量は前述の組成類似銭貨同士でも大幅な差が見られ、特に、厚さ、質量の標準偏差はそれぞれ、平均値の 10.77%, 18.13%と大きな値を示した。

5. 今後の発展

今後も中依知遺跡群出土銭貨の蛍光X線解析装置による分析を進め、試料を増やすことで、本研究で発見された組成類似銭貨が単なる偶然に依るものか、偶然性を棄却できる水準で存在するものなのを検討していきたい。また、中依知遺跡群の北部で開催されていた当麻市（たいまのいち）との流通が指摘されており、当麻市出土遺物の成分分析も新たに行い、当麻市との関係を銭貨流通の側面から明らかにしていきたい。

文献

- [1] かながわ考古学財団, かながわ考古学財団調査報告 中依知遺跡群 一般国道 468 号(さがみ縦貫道路)及び 246 号(厚木秦野道路)建設事業に伴う厚木中依知地区の発掘調査, 205, p.4, 3月 2007年(March.2007)
- [2] かながわ考古学財団, かながわ考古学財団調査報告 中依知遺跡群 一般国道 468 号(さがみ縦貫道路)及び 246 号(厚木秦野道路)建設事業に伴う厚木中依知地区の発掘調査, 205, p.7,10, 3月 2007年(March.2007)
- [3] かながわ考古学財団, かながわ考古学財団調査報告 中依知遺跡群 一般国道 468 号(さがみ縦貫道路)及び 246 号(厚木秦野道路)建設事業に伴う厚木中依知地区の発掘調査, 205, p.151, 3月 2007年(March.2007)
- [4] 櫻井晋一, “貨幣考古学序説”, 慶応義塾出版会, pp.21-26,29-30, 9月 2009年(September.2009)